

対象国の条件:

研修コース番号:(A)J1804197/(B)J1804249

案件番号:(A)1884502/(B)1884949

主分野課題:ガバナンス/行政基盤

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)英語

案件概要

中央人事行政機関における上級幹部職員を対象として、日本及び参加各国における人事行政制度・運用及びその趣旨について比較研究するとともに、他の研修参加者との議論を通じて、自国の人事行政制度等の課題及び今後のあり方について検討する機会を提供する。これにより、人事行政政策の企画・立案に携わる幹部職員の政策立案能力の向上を図り、参加各国の人事行政の改善に資することを目的とする。

| 目標/成果 | 対象組織/人材 | |
|---|---|--|
| <p>【案件目標】 自国の人事行政分野において中枢の役割を担う研修参加者は、本研修を通じて、自国の人事行政に関する具体的で実施可能な改善策を作成できるような企画立案能力を涵養する。</p> <p>【成果】 1. 他の研修参加者との討議を通じ、自国及び他の参加各国の人事行政における重要課題を整理する。 2. 日本の戦後の社会経済発展を可能にした大きな要因の一つである行政及び公務員の役割等について整理する。 3. 日本及び参加各国における人事行政の諸制度及びその運用を理解し、比較することにより、自国の人事行政制度等の課題及び今後のあり方を明らかにする。 4. 研修を通じて得た経験・知識から、人事行政における特に重要な課題について、実現可能な改善案を作成する。</p> | <p>【対象組織】 中央人事行政機関</p> <p>【対象人材】 1. 中央人事行政機関において上級幹部職員（局長級、最低でも課長級以上の職員）の地位にあり、人事行政政策の企画・立案又は実施に携わる者 2. 人事行政政策の企画・立案に係る5年以上の経験を有する者</p> | |
| <p style="text-align: center;">内 容</p> <p>主に以下の講義、発表、討論、視察等を行う。</p> <p>1. インセプションレポート発表・討議（テーマ：国家公務員の人事行政制度の実情及び課題） 2. 講義・討議：日本の公務員制度の歴史と人事院の役割、任用制度、人材育成制度、給与・その他の勤務条件、服務・倫理制度、人事評価制度、開発途上国における汚職対策等 3. 調査見学：国の出先機関、民間企業、地方公共団体等 4. 改善案の作成及び発表</p> | <p>本邦研修期間</p> | <p>(A) 2018/6/6～2018/6/23 (B) 2018/9/2～2018/9/20</p> |
| | <p>担当課題部</p> | <p>産業開発・公共政策部</p> |
| | <p>所管国内機関</p> | <p>(A) JICA東京（産業公共） (B) JICA東京（産業公共）</p> |
| | <p>関係省庁</p> | <p>人事院</p> |
| | <p>実施年度</p> | <p>2016～2018</p> |
| <p>主要協力機関</p> | <p>(A) 一般財団法人 公務人材開発協会/(B) 一般財団法人 公務人材開発協会</p> | |
| <p>特記事項及びホームページ</p> | | |